

今月の推薦句

山田真砂年

野の無きノートのやうに夏来る	飛田小馬々
提灯をビリリと伸ばし夏祭	中村晃也
出航のあとの静けさ薔薇に雨	中村かりん
かきつばた間合ひ程よく漆水鳴る	牧園 賀
水田の蛙声と共に復活す	鎌倉秋廣
花虻の蜜を吸ふとき尻振つて	関口敦子
夏来る両手広げて一輪車	大坪正美
夏の森むくむくとして小揺るげる	滝代文平
黄金は官能の色麦の秋	沼田布美
麦こがし犬をこよなき友として	原田白鷗
無防備なフリマテントや青嵐	林 恵美子
夏川の濁りに魚影速きかな	今井恵子
賀茂祭馬糞拾へる供奉の列	堀 潤子
青葉光紙をはみ出す子らの筆	永井三枝
紫陽花や掠れたやうに雨の降る	戸上晶子
薔薇の香や伝はる言葉探しをり	安藤裕子
荒あらと蝙蝠飛ぶや雲間星	田村チカ
敷地より奥の表札アマリリス	相馬ゆう子
杜若すつくと立つもちよと傾ぎ	大和田美和子
ユリノキや三階校舎越えて咲く	今井 基
三人の曾祖母元気初節句	瀧本 萌